

北海道大学特別出前教室 羅臼高校にて開催 『地域振興とコンテンツツーリズム ～アニメと地域のコラボレーションから考える』

〔講師〕北海道大学観光学高等研究センター 教授 山村 高淑 氏

〔開催日・場所〕平成28年11月16日(水) 羅臼高等学校

〔対象〕 羅臼高等学校1年生全員 34名

- アニメを利用した地域振興について、埼玉県鷲宮町や北海道洞爺湖町での実践経験をもとに詳しく説明。学生にとってもアニメは身近な素材であり大変興味をもって講義を聞いていました。
- 羅臼の魅力につて学生に問いかけ、魅力の発信や課題の克服について学習。インターネットの普及に伴い、若い世代は「デジタルネイティブ」であり世界にダイレクトに情報発信できるツールを駆使し、「知らせたいこと」「魅力的なこと」「困っていること」等を発信すれば、新しい波及が起こり、地域振興の新しい種が出来ると説明。
- 知床羅臼の新たな魅力開発として、知床自然遺産の中から多くのアイヌ（先住民族）の遺跡がみつかり、アイヌ文化を紹介したり、楽しむコンテンツの開発が大切と話される。

